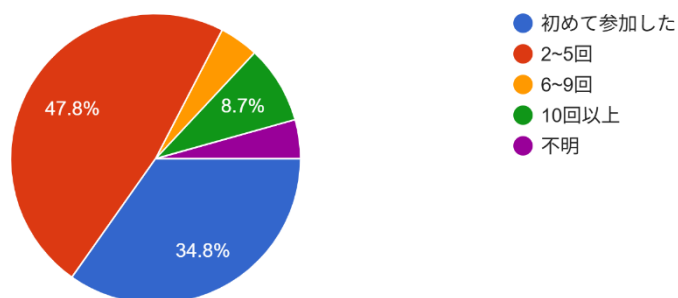


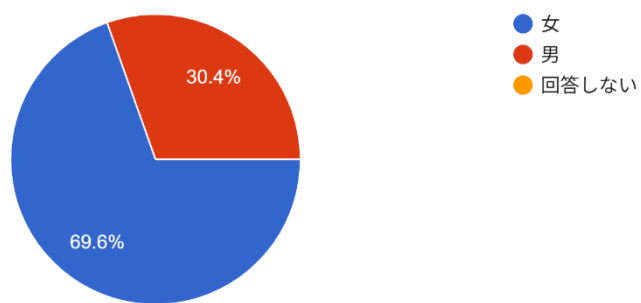
第16回ダイバーシティ推進セミナー 事後アンケート結果

(有効回答数 23)

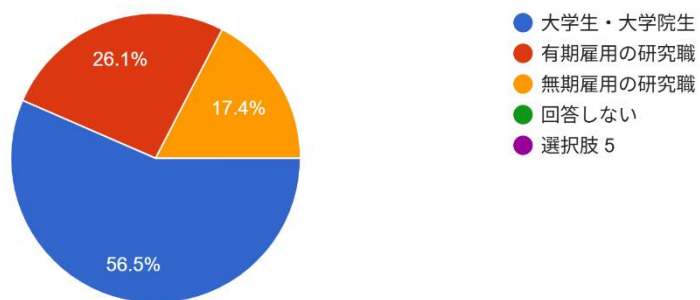
1. 日本植物学会に限らず，男女共同参画やダイバーシティに関するシンポジウムなどにこれまで参加したことはありますか？



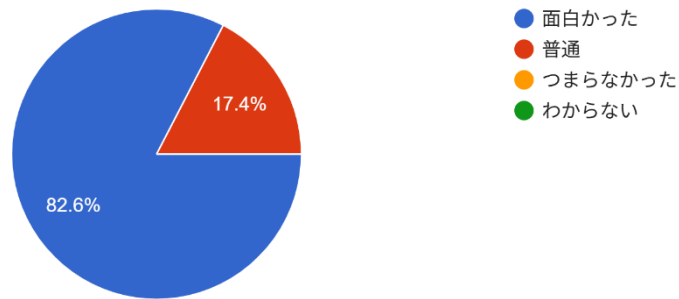
2. 性別を教えてください。



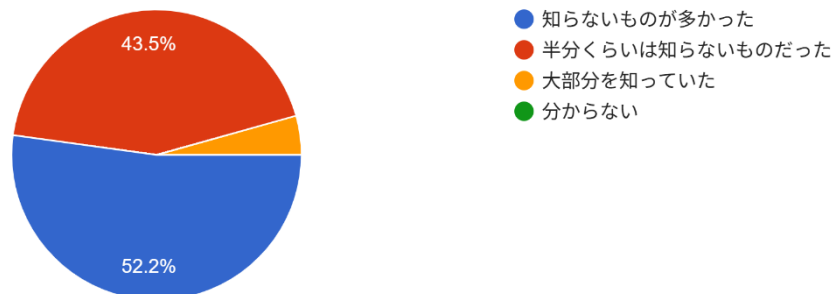
3. 身分を教えてください。



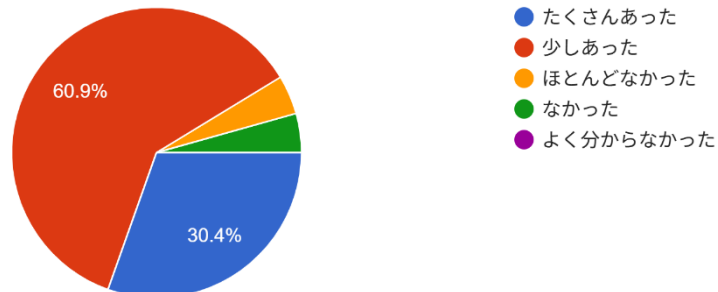
4. 今回のランチョンセミナーはいかがでしたか？



5. 研究者の生活を支援する制度について、知識を得ることはできましたか？



6. 今回のセミナーを受けて、ワークインライフの向上に繋がるヒントはありましたか？



なぜそうに感じられたか、お聞かせください。(自由記述)

- ・自分の立場とは異なるから。他者への対応に活かしたい
- ・沢山の支援制度があることを知れたので。
- ・企業では男性も育児休暇をとる流れもあるが、アカデミアの世界でも少しずつ男性の育児休暇の制度が確立されているのが分かったから
- ・様々な声を元に制度が整えられているのだと感じるとともに、みなさん取捨選択して割り切りながら頑張ってもらっているのだと感じたから。

- ・あまり結婚や出産を考えていないため。ただ、こういったものもあると知れたことは非常に良かったです。
- ・時間に余裕を持ってやる事が大事だと気付かされた。
- ・子供がいない自分にはあまり関係ないかな…と思いました。これから家族を持つ若い世代にはとても参考になる内容だったと思います。ありがとうございました。
- ・性別関係なく、個々のワークライフバランスを目指す働き方の事例や考え方を知れたため。
- ・研究者になる予定はないが、どの職業に就いても関係してくることだと思うから
- ・自分の条件に合うものを選ぶという選択の仕方を知ったから
- ・機会や時間の使い方について考えるきっかけになりました。
- ・制度を知る機会があまりなかったし、知ろうとも思わなかったことが要因
- ・面白い話はあったが、自分はまだその舞台に立てていない

7. 今回のセミナーのご感想を自由にお書きください。(自由記述)

- ・女性限定公募で採用された先生方の論文数など、具体的な数値を知れて勉強になりました。
- ・とても興味深いお話でした。研究者ではどうなっているかわかりませんが、最近は妊娠・出産・育児の際に孤独なことが問題になっています。それによって、子どもへの虐待が発生したりと悲しい事件も増えているように感じます。今回のお話や紹介していただいたお話は、一人ではあるが自立や独立を促していると感じました。孤独ではなく、何かしらの形で誰かの助けを得られるので研究者以外でももっと目指すべき形だと思いました。
- ・いろんな考え方がある中で、多くの人が幸せになるのは大変だと感じた
- ・かなり制度が充実したと感じた。
- ・それが利用できる立場になりたいと思った

8. 今後のダイバーシティ推進ランチョンセミナーで扱ってほしいテーマをご記入ください。
(自由記述)

- ・介護問題
- ・フィールドや分子実験を伴う女性研究者の出産直前～子供が乳離れするまでのスケジュール事例